

別紙 Kurita Innovation Hub (KIH) の設備等の概要

KIHは、実験設備、分析装置、水処理設備等の研究開発設備を有する「Technology Innovation Center (略称 TIC)」と、当社グループの事業内容を紹介するエリアや研修設備等の複合機能を有する「Technical Education Center (略称 TEC)」で構成されます。各センターが備える主な設備等の概要は以下の通りです。

◆ TIC

・実験室

従来、組織別に配置していた実験室を機能別に構成し、最先端の実験設備・分析機器を備えるとともに、執務エリアとの隣接部をガラス張りとするなど、視認性を高くすることでオープンな環境の中で研究開発を行える実験室です。また、お客様や研究機関等との共同研究をするためのコラボレーションスペースを確保し、オープンイノベーションの推進を図ります。

・クリーンルーム

最先端の半導体を製造する電子産業と変わらない清浄度を誇るクリーンルームであり、ファンフィルタユニット空調方式の採用と運転管理の工夫により、電力使用量を従来と比べ半減しています。

・超純水製造装置・排水処理装置

超純水製造装置は、ユーティリティ専用設備と技術実証等の開発用設備の2ラインあり、KIHにおける超純水の安定供給と開発利用の利便性を両立しています。また運転管理コストの削減に向け、最新の水量可変制御式の製造システムを導入しています。排水処理においては、標準型排水回収システム「CORRTMシステム」等の最新技術を導入し、KIH内で使用した水の80%を回収することができます。

・オフィススペース

従業員同士の交流をこれまで以上に活発にするため、ABW (Activity Based Working) を導入したオフィス設計とし、業務内容に応じて場所や設備を従業員が選択し働くことができます。

・外観

水処理装置に用いる「配管」を抽象化した外装が、時間や天候の周辺環境の変化に応じて様々な様相で現れ、美しい景観をもたらすよう施しました。また、一部の外装はそのまま建築設備配管としての機能も備えています。

◆ TEC

・研修設備 (トレーニングセンター)

水処理薬品、水処理装置、メンテナンスに関する基本的な技術知識・スキルの教育を行うことのできる設備があり、実物・現物を用いた体験型実習と装置・機器の異常時を再現できるトラブル対応力の向上や安全教育等、当社グループの技術を中心とした研修の中核を担います。将来的には、お客様や外部機関等のご要望に応じ、水処理の運転管理を担う人材の育成プログラムを策定し、実施してまいります。

なお、TECの1階には研修用の水処理装置を配置しており、実装置を用いた研修風景が屋内外からご覧いただけます。

・展示エリア

当社グループの事業・技術の歩みや水処理を通じた社会やお客様への価値創造のプロセスを見える化・体感できるエリアです。本展示エリアは、時代の要請に水で応えてきたクリタの価値創造の歩みを、投射型映像とグラフィックにより紹介する「クリタヒストリー」や、当社グループの事業領域である「水」の性質とともに、水処理を通じた人々の生活との関わりや産業、社会への貢献等を

紹介する「クリタシアター」、当社グループの水と環境に関する基盤・適用技術およびソリューションを、模型やAR、ジオラマ等を通じて紹介するコーナーで構成されます。

なお、本エリアと TIC の一部設備に見学コースを設置し、実際の装置や開発現場もご覧いただけます。

・タンク型 LED ディスプレイによる光演出

TEC の 1 階の研修用水処理装置には、タンクと同じ形状の立体型 LED ディスプレイを設置しており、水に関する様々なショートムービーが映し出されます。さらに、ショートムービーに連動して水処理装置全体が一つの生命体の様に変化しながら発光する様子を、屋内外からご覧いただけます。



▲ タンク型 LED ディスプレイに映し出されたムービーのワンシーン



▲ 光演出されたタンク

【ご参考】 Kurita R&D シンボルマーク



【 From One Drop, To Earth. 】

当社グループの研究開発活動を象徴するシンボルマークです。シンボルの先端にはクリタのブランドカラーで描かれた一滴の水。そこから多彩なグラデーションのつながりによって、地球が描かれています。研究開発によって生み出される小さな一滴を、多様な人材や、社内外の多彩な知のつながりによって地球規模の大きなソリューションへと広げ、この星の明るい未来をつくっていきましょうという R&D の意志が込められています。

以 上